

随縁

可児陶芸協会作家展



2021
7.17 [土] — 8.19 [木]
10:00 — 17:30
於 ガレリア織部

瀬戸黒茶碗 / 豊場惺也

可児陶芸協会作家展 — 随縁 —

2021年7月17日(土) ~ 8月19日(木)

10:00 - 17:30(会期中無休) ※最終日は16:00まで

青山晃大 / 北大路泰嗣 / 瀧口大喜 / 豊場惺也
樋口雅之 / 松原一哲 / 守谷宏一 / 山下幾太郎
山下真喜 / 吉田真人 / 吉田喜彦

ご来店に際して

お客さまの健康・安全を確保し、感染症拡大を防止するため、店内ではマスクの着用をお願い致します。また、ご入店の際には消毒液による手指の消毒をお願い致します。なお、混雑状況により、入店制限を設けさせて頂く場合がございます。ご不便をお掛け致しますが、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

※数量に限りがありますので、品切れの際はご容赦ください。
お問合せは0572-56-8830まで。

ガレリア織部 10:00-17:30年中無休



〒507-0038 岐阜県多治見市白山町2-222
TEL.0572-56-8830



可児陶芸協会作家展 KANU CERAMIC ART ASSOCIATION

参加作家11名

青山晃大
北大路泰嗣
瀧口大喜
豊場惺也
樋口雅之
松原一哲
守谷宏一
山下幾太郎
山下真喜
吉田真人
吉田喜彦



志野茶碗 / 吉田喜彦



この世のすべてのことは縁によって結ばれていて逆らわずにそれに従って生きるのが良い。

桃山陶の聖地、岐阜県可児市の陶磁史は志を共にした陶工達の縁の連鎖に思います。故人間国宝 荒川豊蔵氏は、宮永東山みやながとうざんを頼り京都の東山窯とうざんようで働くことになった後、同じく宮永東山を訪問した北大路魯山人氏と意気投合し、その縁が後に日本陶磁史を大きく書き換えることとなる陶片の発見に繋がります、荒川豊蔵氏を大萱の地に根付かせました。さらにその後、美濃の陶祖 加藤景豊の流れをくむ岐阜県無形文化財保持者 故加藤十右衛門氏が大萱に窯を構え、そのことで美濃以外の地から二人を慕って志を同じくした陶工達が可児の地に入り、多くの縁が生まれ現在もそれぞれの立ち位置を模索し切磋琢磨されています。この度の『可児陶芸協会展』に出品頂く先生方もその志を同じくされた陶工の一人です。

「随縁——この世のすべてのことは縁によって結ばれていて逆らわずにそれに従って生きるのが良い」

仏教語でもあり荒川豊蔵氏が大切にしていたこの言葉は、師資相承され縁あって開催する運びとなりました。桃山陶の新たな可能性をこの機会に是非ご高覧賜ります様お願い申し上げます。

